

## 正誤表・更新情報

本書中に訂正・更新箇所等がございました。お手数をお掛けしますが、下記ご参照頂けますようお願い申し上げます（2015年6月15日）

## ■第1版 第1刷（2015年5月20日発行）の修正・更新箇所

頁	場所	修正前	修正後	補足	掲載
第6章 6. 腹痛患者に出会ったときの注意点（上腹部痛編）～胆嚢炎を中心に					
201	「図5 胆道系疾患と胆道系酵素の変化」の図解説	空欄	<b>文献5より転載</b>	左記の出典を追加 ※1図 参照	15/06/15
201	「表2 急性胆嚢炎の診断基準」最下部の出典	<b>文献5</b> より引用	<b>文献6</b> より引用	左記の出典に変更 ※1図 参照	15/06/15
204	文献・参考文献内	5) Yokoe M, et al: New diagnostic criteria and severity assessment of acute cholecystitis in revised Tokyo guidelines. J Hepatobiliary Pancreat Sci, 19:574-585, 2012	5) 3. 腹痛. 「研修医目線でわかるERカンファレンス・ライブ」(田中和豊/著)pp.26-43, シービーアール, 2012 6) Yokoe M, et al: New diagnostic criteria and severity assessment of acute cholecystitis in revised Tokyo guidelines. J Hepatobiliary Pancreat Sci, 19:574-585, 2012	文献5を追加して, 番号を変更	15/06/15

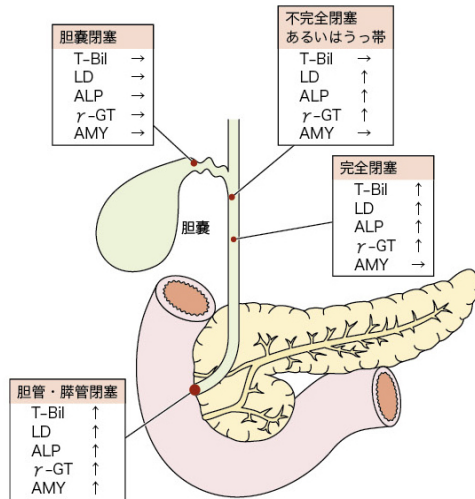


図5 胆道系疾患と胆道系酵素の変化  
文献5より転載

表2 急性胆嚢炎の診断基準

急性胆嚢炎診断基準	
A	局所の臨床徴候 (1) Murphy's sign* <sup>1</sup> , (2) 右上腹部の腫瘍触知・自発痛・圧痛
B	全身の炎症所見 (1) 発熱, (2) CRP 値の上昇, (3) 白血球数の上昇
C	急性胆嚢炎の特徴的画像検査所見* <sup>2</sup>
確診: Aのいずれか+Bのいずれか+Cのいずれかを認めるもの 疑診: Aのいずれか+Bのいずれかを認めるもの	
注) ただし, 急性肝炎や他の急性腹症, 慢性胆嚢炎が除外できるものとする。	
* <sup>1</sup> Murphy's sign: 炎症のある胆嚢を検者の手で触知すると, 痛みを訴えて呼吸を完全に行えない状態。 * <sup>2</sup> 急性胆嚢炎の画像所見: ・超音波検査: 胆嚢腫大 (長軸径>8 cm, 短軸径>4 cm), 胆嚢壁肥厚 (>4 mm), 嵌頓胆嚢結石, デブリエコー, sonographic Murphy's sign (超音波プローブによる胆嚢圧迫による疼痛), 胆嚢周囲浸出液貯留, 胆嚢壁 sonolucent layer (hypochoic layer), 不整な多層構造を呈する低エコー帯, ドブラシグナル。 ・CT: 胆嚢壁肥厚, 胆嚢周囲浸出液貯留, 胆嚢腫大, 胆嚢周囲脂肪織内の線状高吸収域。 ・MRI: 胆嚢結石, pericholecystic high signal, 胆嚢腫大, 胆嚢壁肥厚。	

文献6より引用